



【 . 指標以外の観点からの評価】

| 取組 | 指標以外の観点からの評価  |
|----|---|
|    | ・食品事業者と消費者との意見交換会をワークショップ形式で開催し、食の安全・安心に対する意識や理解を深めることができた。   |
|    | ・県内3カ所(日田・由布院・別府)のホテル・旅館をHACCP導入のモデル施設として支援することにより、HACCP導入の普及を図った。  |
|    | ・生産者に対する研修会の開催やGAP導入に取り組む生産者組織等への支援によりGAP導入戸数の増加を図った。<br>・生産者に対して「安心いちばんおおいた産農産物認証制度」の推進を図った。(認証戸数 H28:214戸 H29:359戸) |

【 . 施策を構成する主要事業】

| 取組 | 事業名(29年度事業)     | 事業コスト<br>(千円) | 事務事業評価 |          | 主要な施策の<br>成果掲載頁 |
|----|-----------------|---------------|--------|----------|-----------------|
|    |                 |               | 総合評価   | 30年度の方向性 |                 |
|    | 食の安全・安心推進事業     | 22,815        | A      | 継続・見直し   | 106             |
|    | HACCP推進事業       | 9,175         | A      | 継続・見直し   | 107             |
|    | 安全・安心な商品づくり推進事業 | 19,538        | A      | 終了       | 168             |
|    | GAP認証農場拡大推進事業   | 11,731        | A      | 継続・見直し   | 169             |

【 . 施策に対する意見・提言】

|   |  |
|---|--|
| <p>食品衛生法改正懇談会(H29.11)<br/>・HACCPについて、大手企業・製造業者への普及は進んでいるが、中小規模事業者では依然として普及が進んでいない。また、食中毒や異物混入の防止、食品の輸出促進等の課題への対応や、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控えているなどといった状況を踏まえると、HACCPの導入を更に推進していく必要がある。</p> |  |
|---|--|

【 . 総合評価と今後の施策展開について】

| 総合評価 | 施策展開の具体的内容  |
|------|---|
| A    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品事業者と消費者との意見交換会において、食物アレルギーをテーマにした講座やグループ討論を行い、食物アレルギーへの理解を深めていく。</li> <li>・ラグビーワールドカップ等大規模イベント開催を控え、多数の外国人観光客の来県に備えた食中毒等への対策を強化する。</li> <li>・食の安全をさらに確保するため、食品事業者のHACCP導入に向けた普及、啓発を進めていく。</li> <li>・農産物の安全性を向上させるため、より高度な指導ができるGAP指導員の育成や認証取得経費等に助成し、GAP認証取得の更なる拡大を図る。</li> </ul> |